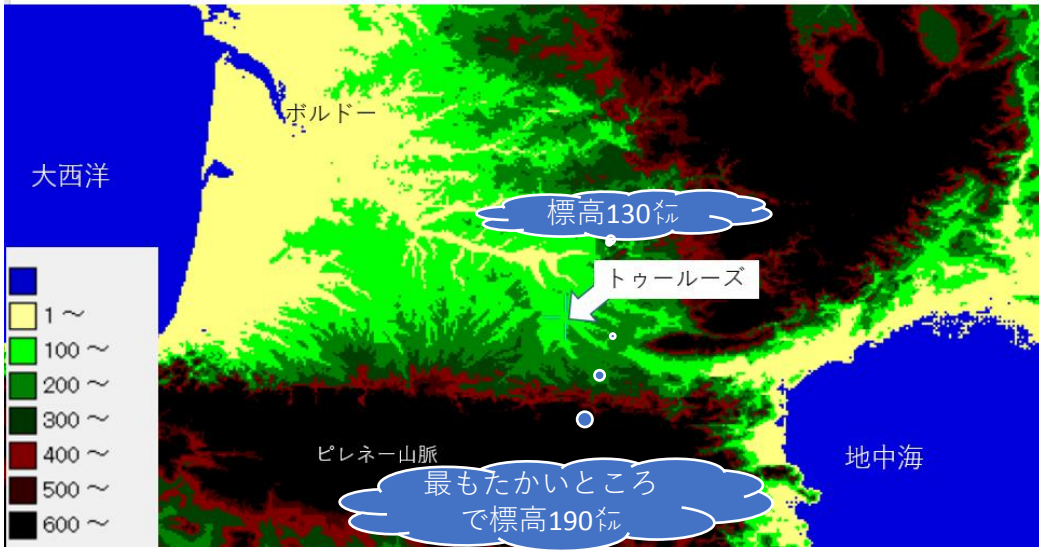
YACかわら版 第41回

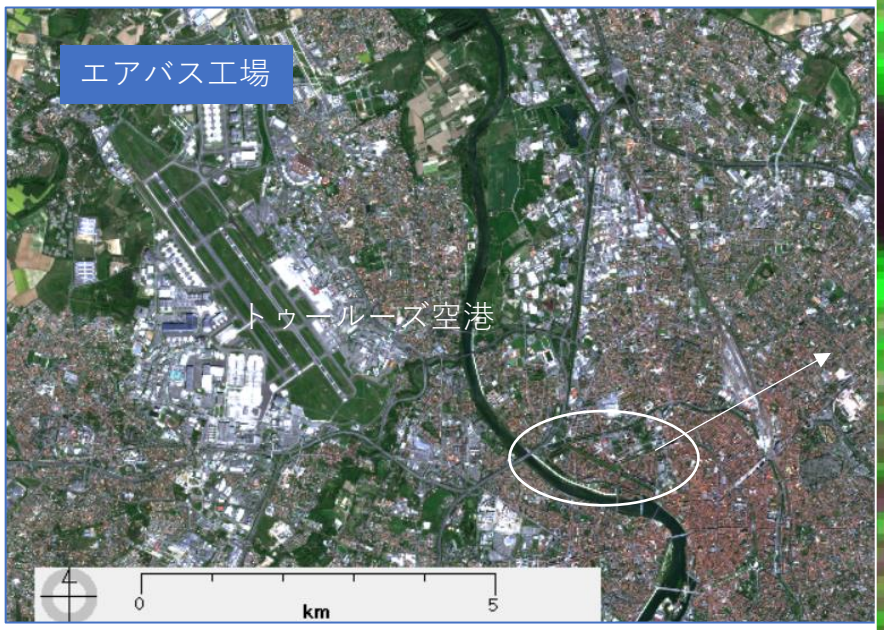
5月12日配信

エアバスのふるさと

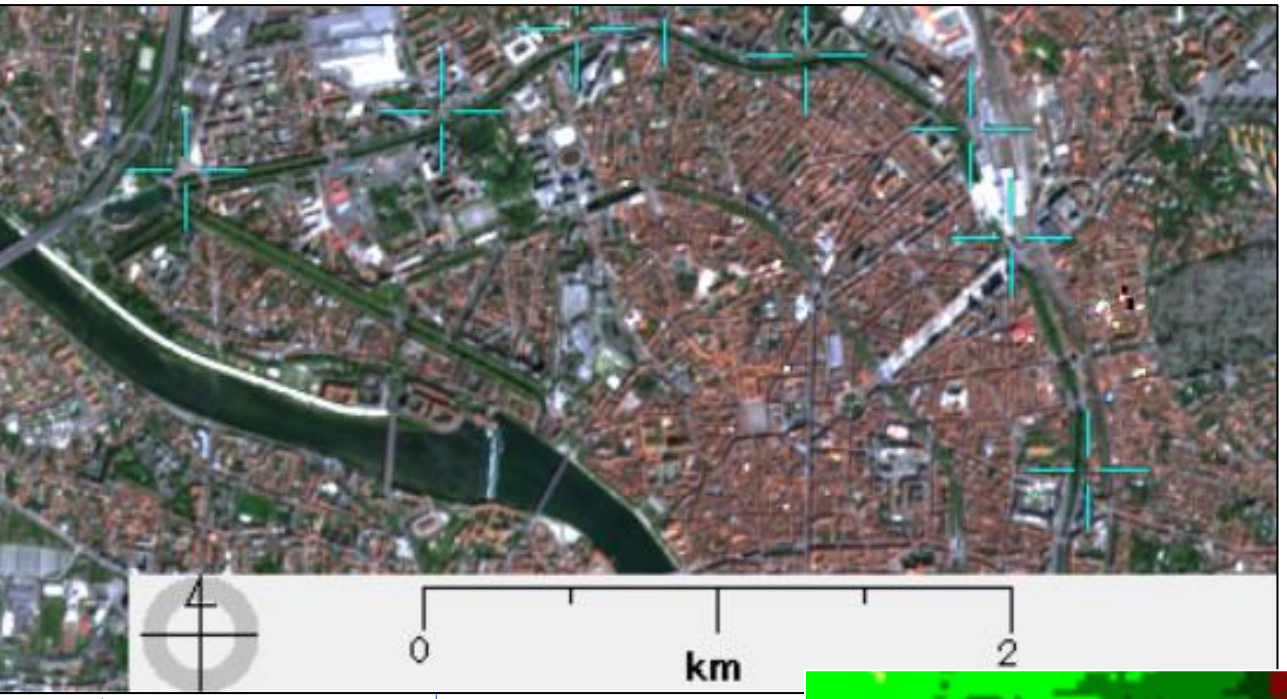
羽田空港の「密」からエアバスのふるさとトゥールーズを紹介しましたら、「トゥールーズ空港の近くからミディ運河があるのでしょう」というメールを頂きました。

衛星データは、パソコンの画面にみえる美的な「絵・図柄」だけではなく、いろいろな情報の出発点と同時に到着あるいは通過点だと思います。
ミディ運河は世界遺産にもなっている240kmもある有名な運河です。ガロンヌ川のトゥールーズからトー湖までを1681年に完成しています。江戸時代で最も有名な元禄時代が1688年から1704年です。その時代にパナマ運河のように山を超える地中海と大西洋を結ぶ通路があったのです。運河の幅は20㍍程度です。
トゥールーズ空港近くのミディ運河を紹介しましょう。





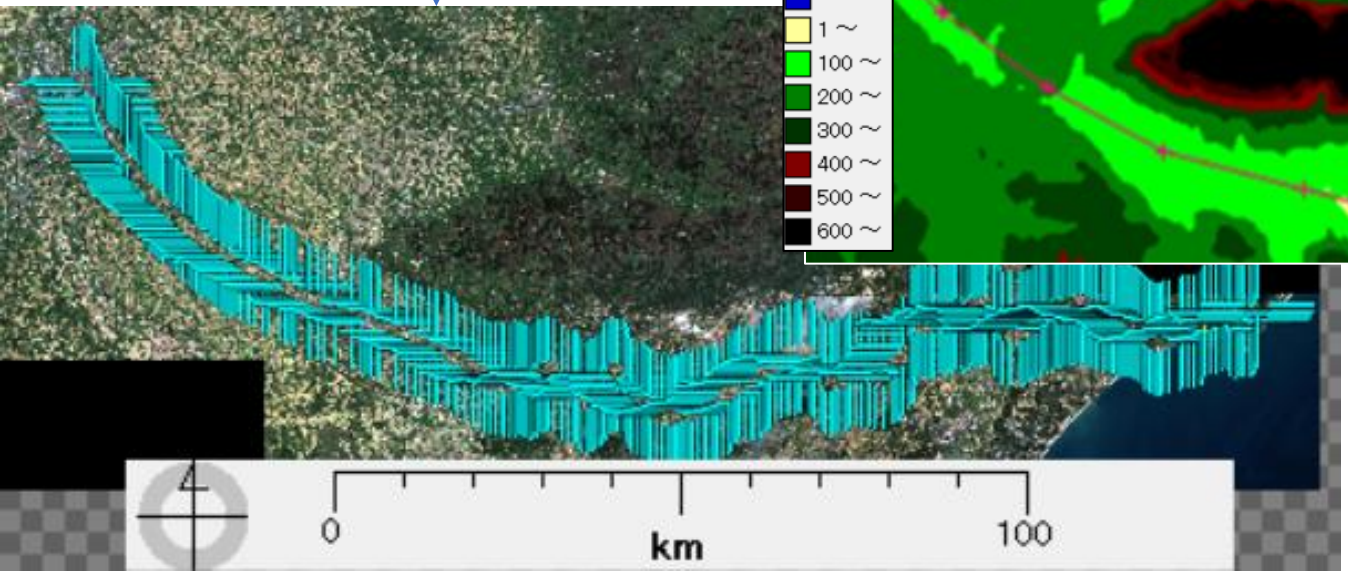
ナチュラルカラー画像では、水路は黒くみえます

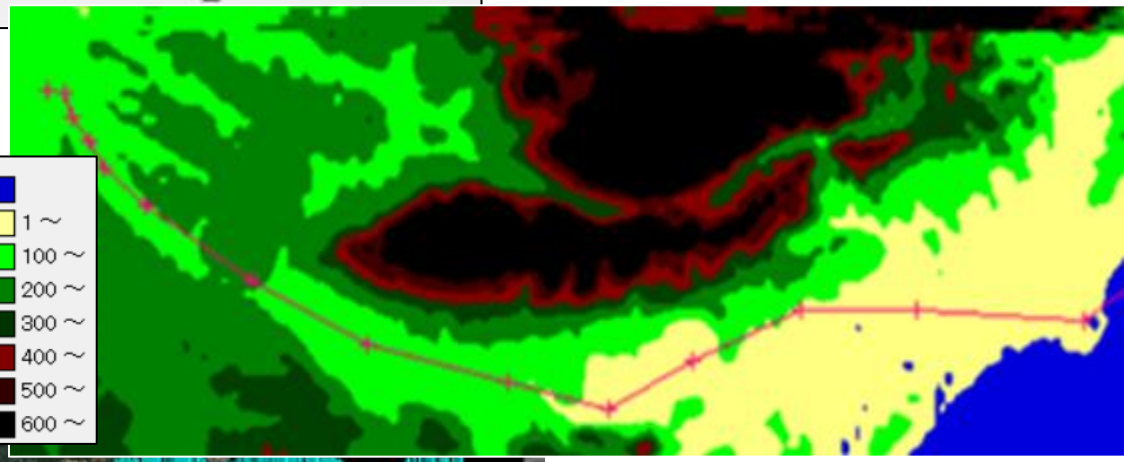


トゥールーズの運河起点付近から、運河にマークをつけていきます。

運河の幅は20㍍以下ですが、両岸には並木が植えられ緑豊かです。
衛星データで追うことができます。
トゥールーズの家々の瓦はピンク色です。町がピンク色にみえます。バラ色の町とも呼ばれるそうです。
この家並みの上を、できたてのエアバス社の新造機が飛んでいきます。
エアバス320のV2500エンジンに使われているシャフトは広島県の呉の工場で製造されています。
（ジェットエンジンの長い軸）

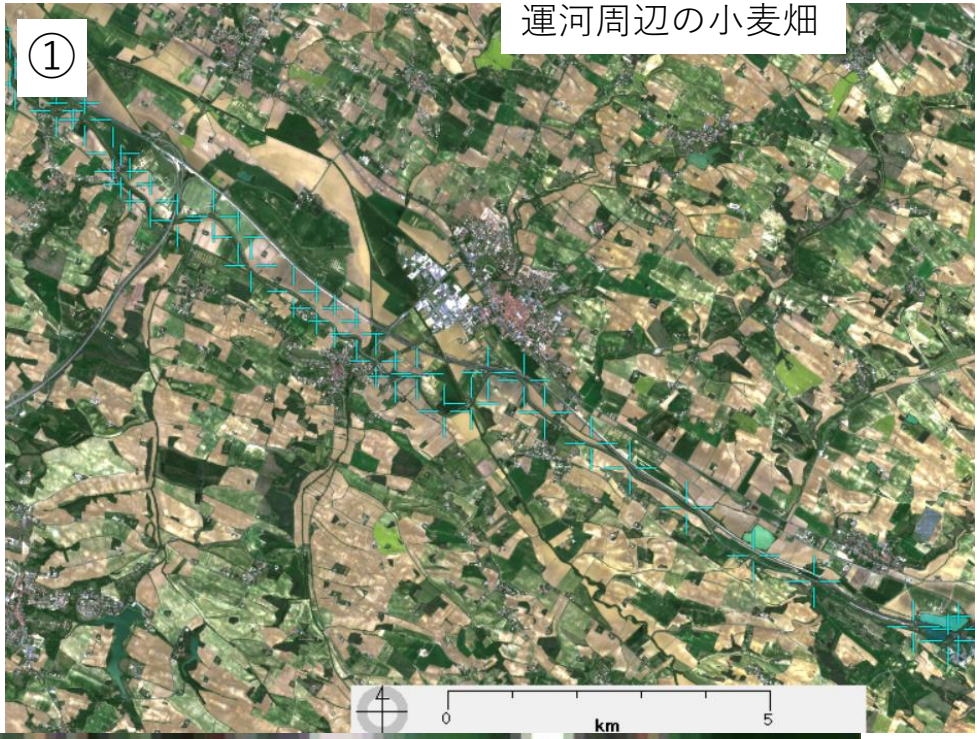
ミディ運河にマークをつけた、センチネル2データをモザイク機能でつなぎました。マークばかりが目立ちます。運河の東側の運河北側のデータは欠落しています。

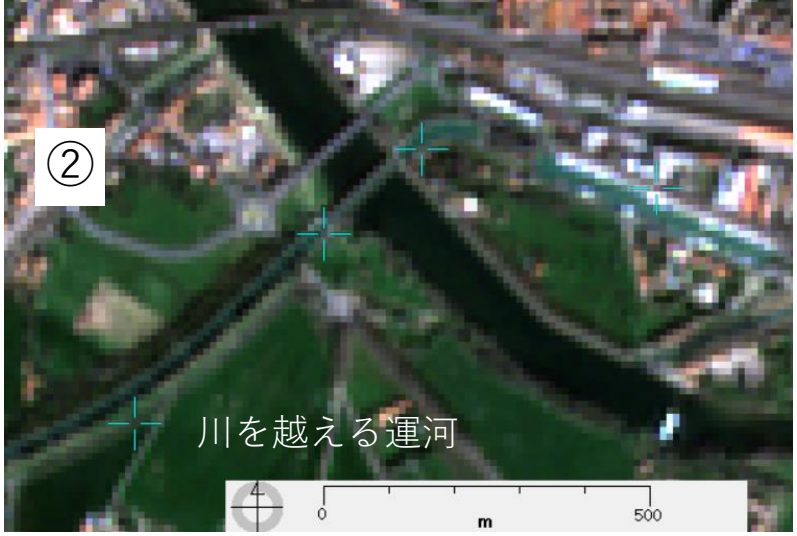


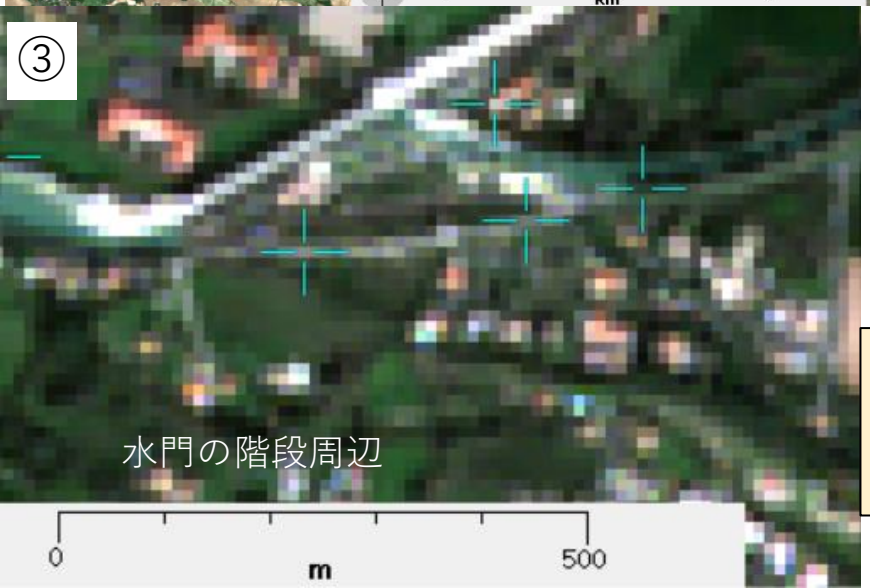


標高データに、運河をマークします。

運河周辺の紹介







「EISEI」で分析チャレンジ
→③と④を含む（マークなし）
http://www.yac-j.com/hq/info/yackawaraban41data.html